

NPOかながわ環境カウンセラー協議会

KECA ニュース NO. 43

平成22年12月25日 発行

巻頭言

KECAの更なる発展のために明るく楽しく活動しよう

理事長 杉浦弘祐

地球上の生物や生態系の保全のありかたについて話し合う「COP10（生物多様性条約第10回締結国会議）」が2010年10月30日、生物遺伝資源の利益配分に関する国際ルール「名古屋議定書」と2020年までの生態系保全の世界目標「愛知ターゲット」を採択して閉幕致しました。今後は我々も日常活動の中で、開発や気候変動で急速に進行している生態系の崩壊や在来種の絶滅を守るために、どんなことができるのかを話し合っ、実践していく必要があると思います。

KECAニュース NO43 が会員諸氏の手元に届く頃、街はジングルベルの鐘の音が聞こえ、イルミネーションが輝いていることでしょう。今年もあと僅か、会員諸氏もあわただしい日を送っていることと思います。

KECAの今年を振り返ってみますと、施策として

- ①マネジメントシステム（PDCAサイクル）の導入
 - ②新規事業の立上げ
 - ③環境教育の推進
 - ④組織的対外活動の推進
 - ⑤事業計画の推進
- を挙げてまいりました。

「マネジメントシステムの導入」については、

11月5日に開催された支部・委員長会議報告によると「事業計画書」に基づき、着々と実施されているようでございます。

「新規事業の立上げ」は、「環境教育の推進」「組織的対外活動の推進」と相俟って、実行されつつあります。

又、懸念しておりましたEA21認証取得支援事業も、計画を達成できる見通しであります。このように施策は単独に実行されるものではなく、KECAの総力を挙げて取り組まねば達成できません。関係部門が相互に協力し合っ「事業計画書」を常にチェックし、PDCAを回しながら進めてください。

本年度も残り3カ月、運営委員会も総力を挙げて懸案事項の解決に取り組んでおります。尚、KECAの当面の具体的課題としては、次のような項目が挙げられます。

- ①支部活動費支出規定の改訂
- ②法務活動マニュアルの作成
- ③監査基準の制定
- ④KECAリーフレットの作成
- ⑤支部・委員会の問題点解消
- ⑥「特定非営利活動促進法」と「KECA定款」の相違調査 等

ご多忙とは思いますが、各担当は年度内完了を目指して、課題の解決に向けて活動される事

をお願い致します。当面の課題を解決することにより、KECAの更なる発展が、実現すると

信じております。最後に会員諸氏が良きお正月を迎えられることを祈念いたします。

支部活動報告

～より活発化が期待される支部活動～

副理事長(支部担当) 古川輝夫

支部を総括担当している古川です。

このところの朝、晩は厳しい冷え込みの中にあつて会員の皆様は、体調管理に苦勞されているものと思っております。お元気でこの晩秋を乗り切つてよいお年をお迎え下さい。

最近のテレビ、新聞によれば、尖閣諸島の問題、北方領土の問題など、現在の日本の状況は、中国、ロシアとの国際問題の対応について大きく報道されています。

これらの問題があり、マスコミでは環境問題については棚上げされている感があります。

今年の夏は猛暑でしたが、最近、秋の味覚のサンマが出回つてきており、野菜や果物の安定供給には、量や質において日常生活には多少とも影響がでてきております。

このような現象は地球温暖化の影響に起因するものと思われ来年も続くものと予想されます。ますます私たちの生活において厳しいものになるものと考えます。

さて、11月5日の支部長・委員長会議が開催されました。

その折、私から支部活動への総括として、次の通り提案させていただきました。

- ・地元行政や地域住民に対して役立つ活動

- ・支部交流活動
- ・支部事業の計画的実施
- ・各委員会との連携
- ・情報について支部会員への周知徹底

以上について、参加した各支部長から現状報告をいただきました。

問題として、各支部において活動実態にはかなりの格差があり、支部によっては会員数が少なく支部活動にも大きな支障がでてきており、支部統合も含めて支部活動について真剣に考えなくてはならない時期に来ている状況にあります。

まだ、年度途中の段階ではありますが、以前から申し上げております通り KECA の各支部において、このような環境状況の中で環境専門家である環境カウンセラーの知名度を上げるべく、地元地域とタイアップして受益者に対する諸活動を本年度支部活動計画の通り推進していただくご努力をお願い致します、特に、支部交流を活発化については、お互いの適切なコミュニケーションを行うと共に各支部の活動の情報を公開して、活発な交流を図っていただくようお願い致します。

横須賀三浦支部 支部長 高橋弘二

【横須賀三浦支部集会】

□日時：11月8日（月）18時30分～19時40分

□場所：横須賀市市民活動サポートセンター（汐入駅前）

□出席者：遠田、高橋（記）＜欠席連絡1名＞

1. 報告事項

(1) 湘南国際村自然ふれあいの森サマースクールにおいて、8月14日（土）環境カウンセラー養成支援セミナーの開催にあたり、KECA 環境教育委員会に協力実施した（支部会員3名）。

(2) 環境カウンセラーとしての個人活動

1) 子どもの環境教育：①小学校環境教育出前授業、②すかっ子セミナー

2) 地域活動：①三浦半島まるごと博物館連絡会、②芦名堰ビオトープ市民協働事業ほか

3) 委員会活動：①横須賀市地球温暖化対策地域協議会、②観音崎公園再生検討会ほか

2. 協議事項

(1) 市立小学校3年生の環境学習出前授業：「平作川について」11月22日（月）、3

クラス91名を半分ずつ、1、2時限と3、4時限の2回に分けて実施する。

内容：①いと昔、②生き物、③七夕水害、④絶滅危惧種（トウキョウサンショウウオ）、⑤透視度測定

(2) 人数が少なく支部活動らしい活動ができないので、各自それぞれ環境カウンセラーとして活動してもらい、支部集会は情報



交換、活動協力・支援の場とする。

来年度からの横浜支部への吸収合併についても検討する。

湘南支部報告 支部長 西村堅一郎

1. 定例的な会議：

毎月最終金曜日の午後6時から「藤沢市民活動支援センター」で開催、各会員の活動と支部活動について意見を交わしている。

9月24日、10月23日に開催された。

2. 最近の活動

・9月24日、新江の島水族館主催のイベントにKECA湘南支部として参加した。主催者から5.4×3.6mの広い展示スペースを提供されたので、KECAの活動を

紹介するポスターの展示、ちゅら海の多様な生物に関するポスターおよび標本展示、エネルギー関連のパネルと実験装置を並べた。

中でも手回し発電機によるLEDと白熱電球のエネルギー比較モデルと赤、黄、黒、三色のイルカがジャンプするおもちゃが関係者の関心を集めた。

・10月23、24日、第六回綾瀬市環境展に協賛した県央支部の環境イベントに参加した。手回し発電機によるLEDと白熱電球のエネルギー比較モデルと回転ずしのおもちゃを西村支部長が持参して参会者の対

応を行った。

今後も近隣の支部活動には積極的に参加

横浜支部

支部長 原 洋夫

2009年度第2四半期における横浜支部の活動を報告します。

1. 支部会議の開催：7月22日、8月26日、9月22日、10月28日で場所は横浜市市民活動支援センターである。岸川監事が退会された。
2. 横浜支部事業活動進捗状況
 - 2.1 (EMS普及活動) EA21グループ(村

第9回ビジネス交流会

横浜支部 村井哲郎

横浜商工会議所中部支部が主催するビジネス交流会に横浜支部が担当支部として参加した。この交流会は毎年行われていたようだが、我々が気付いたのは今回初めてであった。今回のテーマは「横浜で元気のある企業」ということで、岩村さんの発案によりエコアクション21宣伝を題材にして参加することになり、小生が事例発表をさせてもらった。

11月17日(水)の午後、雨はやんだとはいえ、かなり冷え込んだ天気であった。

2～3カ月前のあのうだる猛暑はどこへ行ったのか、「タフでなければ生きられない、やさしくなければ生きる価値がない」とつぶやきながら、事務所から会場の横浜シンポジア(山下町2番地の産業貿易センタービル9階)まで皆で荷物を運ぶ。

会場で我々に割り当てられた展示スペースに行ってみて驚いた。大棧橋を望む夕方の港が美しい。絵ハガキのような景色も中々のものであった。しかし何時までも見とれているわけにはいかず、早速展示ブースの準備を皆で始める。パソコン3台で、「環境のDVD」、「エコアクション21の説明pp」、「CDソフトの説明」を

してゆきたい。

井グループ長)

村井グループ長以下約10名の支部会員で月1回の打ち合わせを支部会議の前に実施している。内容は個別企業に対するアプローチ及び業種別団体へのアプローチの試みである。残念ながら今年度成果がまだ上がってこない。11月17日に横浜商工会議所中支部主催のビジネス交流会でエコアクション21の紹介をした。その状況について最後に紹介する。その他の活動で報告すべきものはなかった。

映写するようにした。更にポスター、展示物などを並べるので大忙し。今回このビジネス交流会に参加したのは、実施チームとしては敬称略で、原、岩村(展示担当)、平野、野々村(事例発表担当)、小生の5人、参加者としては敬称略で杉浦理事長、竹田、木村(信)、杉本、河野、石黒の皆さんであった。

そのうちに2時半になり、事例発表が始まった。事例発表を希望する企業が8社に増えたので、1社に割り当てられた時間は10分と短縮され、この時間で要点を話し切らなければいけない。エコアクション21の良さを宣伝するのが狙いだが、そもそもエコアクション21を知らない人が多いので、これはどんなものかという説明から始めなければならない。まさに駆け足で「しゃべり抜けた」という感じであった。最後の画面では、「2006年にKECAのコンサルティングにより認証取得された菱日エンジニアリング(株)がエコアクション21の環境活動レポートで優秀賞を受賞した」ことを紹介して締めくくった。因みに横浜支部員である平野雅明氏は、この会社の社員であり、会社側担当者としてこの構築を担当した経緯がある。

事例発表をした他の7社は、ソフト会社、製造業、ホテル、学習塾などであり、何れも面白

い話が聞けた。展示のみを行った会社は、(株)エコタクトコム、バブ日立ビジネス(株)、日立ビジネスソリューション(株)、(株)富士ソフト技研、(株)紫式部の5社であった。定員150名といていたが、実際の参加者は180名ぐらいであった。

我々の展示ブースにも色々な人が来てエコアクション21についての質問があったが、全体的に時間が短かったので、十分な交流が出来な

かったような気がする。小生は専ら、エコアクション21の資料を配り、売り込みに努めたが、さて反応はいかに。今後に期待したい。ともあれ5時15分頃予定通り終了となった。

写真は展示会場と参加された会員



県央支部

支部長 古川輝夫

第14回KECA通常総会で決定されました支部事業活動方針に基づき、本年度の県央支部として、管内の6市1町1村の行政や商工会

議所、商工会とタイアップして、地元市民への教育並びにEA21普及活動・支援及び会員研修及び他支部との交流や各委員会への協力を積極的に進め支部活動の活性化を図ることを計画しており、実施状況について下記の通り報告致します。

・10月23日～24日の2日間、第6回綾瀬市環境展へ出展しました。

KECA活動紹介ポスター類と湘南支部の島田理事、西村理事のご支援により手回し発電の回転寿司、白熱灯とLEDの比較モデル、省エネセンターから借用の電車プラレール玩具、及びエコ生活の推奨クイズ等多彩な催しの結果、約500人の見学者があり大盛況でした。綾瀬市長も訪れ、私たちのブースを熱心に見学され、丁寧なお礼の言葉をいただきました。

毎回の出展とその内容に関して行政とは確かな信頼関係を築いております。

なお、本件については、詳しく事業担当から別紙の通り報告があります。

・支部会議では隔月単位で会員による講話を行い、お互いが研鑽することにより活性化になっています。

・支部会議は会員16名中8～9名の出席で活発な意見交換を行っています。(出席率は50%)

今後は出席率を増やすべく努力していきたいと思っております。

・モデル施設勉強会として12月12日に野菜くずリサイクル施設(生ゴミ処理)を予定しています。

・10月に予定していました三菱重工横浜製作

第6回綾瀬市環境展へ出展

KECA 県央支部は、10月23日(土)～24日(日)の2日間、市役所ホールにて環境活動展示を行ないました。

今年は昨年と同様に、KECA 活動紹介ポスター

所の風力発電装置などの勉強会は先方の事情で中止致しました。また、11月に予定されていた海老名市エコフリーマーケットの参加は事情により見送りました。

・来年は1月には計画の通りモデル施設勉強会など実施することを考えています。

・伊勢原市、綾瀬市の環境対策審議会の審議員として出席し、地域の環境保全に関する審議を行っております。

・エコアクション21の相模原イニシアチブ及びあいおい損保グリーン化プログラム(湘南)では当支部から多くの指導員が指導・助言を行っておりEA21の普及啓発に協力しています。

・総合研修会Ⅱの当支部に割当ての5人に対して1人オーバー6人の参加希望がありました。これについても、KECA に対して積極的な協力ができているものと考えています。

なお、会員の原さんから関係者に対して、定期的に刊行誌の「かわせみ」及び四季折々の動植物写真をいただいております。特に、外来種による環境への変化を教えてもらっています。

類(エコアクション21&環境カウンセラーの活動ポスター、生物多様性ポスター等)と大型“電車プラレール”展示物に加え、更に集客とエコ生活啓発を図るべく、新趣向を凝らしたエコクイズ、並びに嶋田さん所有(西村さんハンドキャリー)の手回し発電玩具類(回転寿司、動物等)等、盛り沢山の出展をしました。

省エネルギーCから借用した『手回し発電電車
プラレール玩具』（大型卓球台）がやはり大好
評で、枯れ枝・枯葉+サンリオ景品でディスプ
レーされた（高橋さん労作）線路は大きさや見
栄えも素晴らしく、渡辺靖電気機関車技師の調
整による電車模型は3両とも軽快に相模の国
綾瀬路を駆け巡りました。車よりも公共交通機
関（特に電車）が環境に良いとの主旨の展示
物に、子供達やその家族が、多数楽しんで参加
してくれました。

また KECA 定例会で提案有ったエコクイズも、
古川さん・守谷さん達と平塚市の県立環境セン
ター訪問して見つけた環境省のエコ生活啓発

資料を活用して、エコ生活は経費節減にも効果
的と全10問を準備し、2日間で合計8回のク
イズを実施しました。ブース前が一杯になるよ
うなクイズ参加者が集い、高山さんの軽妙な語
り口で、エコ生活の推奨を兼ねたクイズ催しも
大盛況でした。サンリオ商品目当ての女の子達
や外国人家族等が何度もブースを訪れ、楽しい
交流を持つこともできました。

県央支部の皆様の協力を得て、KECA紹介の
目的、環境の大切さを啓蒙することができたの
ではないかと考えています。来年も参加出展
出来ればと願っています。

事業担当 菅田 勝



相模原支部 支部長 福田昭三

相模原市環境審議会視察会に参加 して

平成22年度相模原市環境審議会の新規委員による相模原市内の環境視察会が下記要項で開催されました。参加者の一員として概要を報告いたします。

記

- * 開催月日 平成22年11月1日
- * 視察地 アリオ橋本店(新規開店のショッピングセンター)
小松城北地区 里地里山
- * 参加者 環境審議会委員 16名
相模原市役所 環境政策課長他2名、ミドリ水対策課その他1名

視察地 1

アリオ橋本店(総合スーパー イトーヨーカドー橋本店)
(株)イトーヨーカドー

(本社 東京都千代田区 代表取締役社長(CEO) 亀井淳 日本最大のSC)
国内最大規模のLED照明導入後、アリオ最大級の太陽光パネル設置等最新の環境配慮型SCで、JR横浜線・相模線・京王相模原線の3線が乗り入れるターミナル橋本駅南口に9月17日午前9時グランドオープン、店内には136の専門店が構成される大型商業施設で子どもから若い女性・高齢者等、巾広くターゲットとした文字通りの新規SCである。そして、どなたでも快適にお買い物をお楽しみいただける、安全・安心な生活密着型をめざす。今回環境負荷を主として視察した。その概要は・・・
(アリオの取組み)

■ 環境負荷低減とユニバーサル デザインへの取組み

—地球にやさしく、人にやさしい
ショッピングセンターをめざして—

アリオでは、店舗の大型化や店舗数の増加に比例して環境負荷が増大しないよう、省エネ設備導入によるCO2削減や廃棄物のリサイクルを積極的に進めています。

また、身体の不自由な方だけでなく、健常者をはじめ、お年寄りからお子様までどなたでも安心して利用いただけるユニバーサルデザインの店舗づくりに積極的に取り組んでいます。

[環境負荷低減の取組み(一例)]

① 日本最大級1万3千台のLED照明や調光器具等=省電力化、CO2削減効果

LED照明器具は売場の約80%に採用、その他、通路やトイレ、外構のインターロッキング型ソーラー付照明等に積極的にLED化を進めました。ショッピングセンター全体では、13,056台、全体の約7割になります。従来の照明と比較して消費電力は約半分へ。年間で約554トンのCO2削減が見込めます。

その他、売場ごとに照度を変える調光器具や高効率器具、階段等での人感センサースイッチの採用で年間約1,020トンのCO2削減が見込めます。

② 太陽光パネル、風力&太陽光発電付外灯=自然エネルギーの活用

太陽光パネルは、店舗南側壁面・店舗底上・店舗4階塔屋に設置。合計1,178枚=1,561㎡、最大202kwを発電できます。1階駅側にある

ECCO&UDコーナーでディスプレイを使い発電量をリアルタイムに表示します。

また、南側店頭に風力&太陽光発電付外灯を10基設置。蓄電により日照不足でも約4日間点灯（日没から7時間）。外灯下で発電量をリアルタイム表示します。

③ 氷蓄熱システム＝昼夜の電力需要の負荷平準化

深夜電力で製氷し、営業時間に解氷して冷房に利用します。

④ 雨水システム＝節水

雨水を貯水して植栽の散水に利用。更に、降雨センサー付自動灌水システムで無駄なく散水できます。

⑤ 電気自動車用充電設備（アリオ初）＝未来に向けての取組み

平面駐車場に1基設置。CO₂発生量が約1/4といわれる電気自動車を、15～30分で80%の充電が可能です。（充電時間は車種により異なる）

視察地 2（この地域を後世に誇れる里山として）

小松城北地区里地里山

保全活動の概要

- * 保全団体名 小松城北里山を守る会
- * 設立 平成16年4月
- * 会員数 63名(平成22年4月1日現在)
- * 活動目標
 - ・ 地元の暮らしを重視した活動
 - ・ 地元の雑木林・水田・畑・小川を活用保全する活動
 - ・ 子どもたちやお年寄りが生き生きする活動

- ・ その他 この目標の達成に必要な活動

視察当日は前日の大雨で里地全体、落葉が一面に散り、土の道路は？すっかり水田の様で、歩く都度クツの中に冷たい水が浸入し、自然に伸びた雑草は容赦なく身体に絡み付く。

「これが自然なんだよ。」と、偉い先生は、落ち葉を楽しむように我れ先へと・・・

この地が生物多様性の原点として、残してほしい川と沢の狭間には、今年の猛暑続きで餌の虫等を捕食出来ず、痩せた女郎グモがヤタラ多く、それでも元気でいた？冬も近いのに温暖化はこんな所に来ていた。津久井4町との合併で相模原市の自然緑地は多くなり、そんな気持ちで里山の里にある古道、地元の老人が語り明かす遠い昔のロマン、サカナだってホテルだって、いっぱい居た1300年代の祠(ほこら)を見て、これは地元、いや国の財産だと、ふっと思った。

里地里山は、人が自然に働きかけて生まれた空間であり、薪や材木、食料などの生産や、生き物の生息、生活文化の継承、環境学習の場といった機能を有している。

しかし、人々のライフスタイル変化や、森林や農地の担い手の減少から、現在においては、荒廃化が進んでいる状況である。

このような状況の中、小松・城北地区においては、神奈川県の里山づくり推進事業を契機として、平成16年4月に『「小松・城北」里山を守る会』が設立され、里地里山の保全活動が開始された。

会の設立後、まず地域の歴史文化、言い伝え、農事暦、食文化、生き物、遊び、道具及び古道に関する現状調査を行い、活動地域の現状を示す地図と一覧表を作成し、活動方針を定め、その後、古道の整備から開始し、竹林整備、谷津田の復元と、ホテルをはじめとする生き物たちの生息環境を保全する活動などが行われている。また、小松・城北地区は、1300年代から歴史的な記録が残されている地域で、祠が多く、伝統行事が盛んに行われているとともに、梅、

カタクリ、ホタル、コスモスの時期には「祭」を開催し、小学校やエコクラブの子どもたちの

体験学習の受け入れや、都市住民との交流の場の役割を担っている。

西湘支部

支部長 木村隆男

西湘支部では従来、カウンセラー個人の環境教育などが地域における活動の大きな比重を占めていましたが、組織的な活動として2011年2月に環境考察会を計画しました。そのためコース開拓として、2010年8月末に真鶴半島へ市民活動研究会委員2名、横浜支部会員1名とともに計6名でコース下見をおこないました。下見では実際にコースを歩いてみて、中心テーマの設定、当日のコースの決定、みどころの選定などを参加者みんなで話し合いながらおこないました。

真鶴半島は頼朝にかかわる鎌倉時代、小松石にかかわる江戸時代など、歴史や人の暮らしに多くのみどころがあります。また、江戸時代に

植林されたといわれているマツやクスノキの森は『御林』と呼ばれ幕府による管理がなされ、その豊かな森は地元では魚つき保安林と呼ばれ、現在でもその影を海に投なげかけ真鶴の海は豊かな漁場となっています。1月に別途案内をお送りしますのでご参加下さるようお願いいたします。

さて、今後の西湘支部活動の方向ですが、まずこの環境考察会を支部の活動として定着させ、現在会員がおこなっている色々な活動との連携を深め、地域に定着した活動にすることがあげられます。それとともにEA21への取り組みにより力を入れていきたいと考えています。

KECAは環境教育と環境経営をとおして社会に貢献します！

～KECAの旗(メッセージ)の一提案～

副理事長(委員会担当) 河野健三

今年度の委員会活動はEA21支援事業によりKECAの財政基盤を担う環境管理委員会と新規事業の立ち上げを担う環境教育委員会・エネルギー委員会を中心に各委員会とも活発な活動が展開されました。今年度の重点目標に新規事業の立ち上げがあり、今後はこれらの新規事業を既存の事業と共に対外的に発信し、会員の総力を結集して実行していくことが必要になります。KECAニュース42号で「KECAの旗を立て

よう」との先輩の言葉を紹介しましたが、私としてもKECAの旗を立てる必要があると考えるので1つの提案します。

それは「KECAは環境教育と環境経営をとおして社会に貢献します！」というメッセージです。KECAの旗を立てる狙いは「KECAは何をして社会に貢献しようとしているかを外部の人たちに発信すること」「その旗のもとへKECA会員の総力を結集すること」にあります。

この旗はKECAのお客様である受益者へのメッ

ページになると共に KECA 会員の皆様に「それをやるなら自分はこのようなことで貢献できる」という会員諸氏へメッセージにもなると思っています。

1. KECA の事業活動は環境教育事業と環境経営支援事業に集約される

KECA の事業活動は支部・委員会を中心に様々な活動していますが、私は KECA ニュースの 41 号で述べた通り、KECA の事業活動は二つに集約されるのではないかと考えています。

その 1 つは環境教育事業です。KECA のホームページある環境出前講座を中心に、新規事業の立ち上げの一環として行ってきた環境カウンセラー講座・eco 検定受験対策講座、これから行う環境教育インストラクター講座、市民活動研究会が行っている環境考察会等が入ります。

もう 1 つは KECA の財政基盤となっている EA21 支援事業を発展させた「環境経営支援事業」です。現在、EA21 支援事業は EA21 コンサルティングが中心ですが、EA21 認証取得企業の環境経営システムをとおして更なるお手伝いができるのではないかとことです。勿論、審査は審査人にお任せするのですが、各企業が行っている通常の業務については KECA の持てる多彩な人材を生かして中小企業の発展に貢献することができると考えています。

2. この 2 つの事業の狙い

私としては環境教育事業の狙いは「環境に関心を持つ人を増やす」ことにあり、環境経営支援事業の狙いは「元気な中小企業を増やす」ことにあると考えています。

環境教育の対象は学校・市民は勿論、企業も加えて、市民部門・事業者部門を問わない全会員が参加する KECA として特長のある環境教育を目指したいと思います。

環境経営は EA21 のコンサルティング企業を中心に環境経営システムをとおして企業の発展を続けてもらうにはどのような支援が必要なのかについて検討する必要があります。

3. ホームページにある「ご利用下さい」の活用

KECA のホームページには EA21 コンサルティング・環境出前講座・環境ダイアログが「ご利用下さい」というメッセージで掲載されています。この 3 つの案内(サービス)を中心に各支部・各委員会が現在行っている様々な活動、又会員個人が活動している内容、これから行おうとしている活動等を顕在化し、前に述べた狙いに結び付け、その結果としてどのような組織・運営体制が良いのかを検討していく必要があります。

この提案は私個人の考えで記載しています。会員諸氏のご意見・ご要望等をお知らせ頂ければ幸いです。

委員会活動報告

環境教育委員会 委員長 高橋弘二

□日時：10月19日(火)、11月17日(水) 18時30分～20時45分

□場所：県民活動サポートセンター10階、9

階

□出席者：岡本、上野、今泉、(川村)、(河野)、(石黒)、高橋(記)

オブザーバー：杉浦理事長、(古川副理事長)、(岩村) < () は、どちらか1回 >

1. 報告事項

・環境教育実践報告（・足柄高校・横浜市立小学校・横須賀市立小学校）＜岡本、高橋＞

2. 報告・協議事項

（1）市民環境活動報告会実行委員会経過報告：実行委員協力（岡本、川村、石黒）

□2011年3月5日（土）12:30～、県民センター2階ホールで開催

・費用負担について協議してきたが、県環境学習リーダー会から全額負担の申し出があった。
・KECAの発表枠として、口頭発表1件、ポスター発表2件としているが、会員からの公募を受け付けるので、その旨、支部長経由メール発信する（岡本）。

（2）環境教育インストラクター養成セミナー

化学物質委員会 委員長 木村隆男

化学物質委員会は2003年（平成15年）度に発足し、今年度で8年目を迎えました。発足当初はPRTR制度の本格的運用という社会的背景のもとに、中小事業者を対象とした活動を模索しましたが、翌2004年度から市民・事業者・行政を結ぶリスクコミュニケーション（以下リスクコミと略記）を活動の中心におき、高橋弘二理事が主宰する横須賀『水と環境』研究会での講演で活動のスタートを切りました。以降、事業者がより参加しやすいリスクコミ（『環境ダイアログ』）を中心に、化学物質リスクに関するWebでの情報発信、行政や市民団体・NPO主催の講演会講師などの専門性の高い活動を進めてきました。

さて委員会活動の現状はどうでしょうか。活動内容を見直す時期にきているように思います。年度当初から、環境主催の審議会等の傍聴や行政との意見・情報交換等により、われわれが活動の中心においているリスクコミの現状や今後の展望について調査を進めてきました。そ

ー

□2011年1月22日（土）、23日（日）、シルクセンター（横浜）会議室で開催

・KECA環境教育委員会で講師を担当し実施する。

・早急に、ECUとの打合せを行う（12月1日午後、杉浦理事長、高橋環境教育委員長）。

・環境省、神奈川県農政局の後援を依頼する。

・決定後、養成セミナー参加募集チラシを配布する。

・申込受付、参加費振り込み確認など、事務局、会計担当理事の協力をお願いしたい。

の結果次のような状況であることがわかりました。これまでのリスクコミへの取組は化学業界と消費者団体等の一定のレベルでは成果はあげているものの、地域レベルまでには浸透していません。われわれがめざしている地域レベルでの展開に関しては、国でも地方公共団体でも実効的・具体的な方策を見いだしかねている状況です。

われわれの『環境ダイアログ』も実施したのは2回だけですし、参加企業を募ってはいますが、ここ二年間手をあげてくれる事業者はいないのが現実です。委員会の今後の進むべき道ですが、今までどおり今後の社会のあるべき姿をめざして先頭にたって活動するのか、あるいは社会のニーズをより掘り下げそれに対応できる活動テーマを見つけ出すのか、ふたつの方向があるように思います。幸い今年度になって2名の会員が委員会に加わりました。議論をつくして今年度中に確かな方向を見いだしたいと考えています。

環境管理委員会 委員長 照沼俊夫

上期の状況について、かいつまんで報告します。

1. コンサル案件は、毎月実施のセミナー及び無料訪問セミナーを中心にして、予算10件に対し、まあまあ順調に推移。実績8件。今後とも鋭意、要努力。新たな顧客開拓展開中。
2. 自治体イニシアティブ&グリーン化プログラムは、昨年比して低調。プログラム数は3本で、当初参加企業17社なるも既

に4社辞退。

来年度の実施方法について、要検討。

3. 2009年版のCD普及実績は順調に推移しているが、旧版を使用頂いている事業者への浸透の余地は残っているので今後とも鋭意、要努力。審査人各位に期待。
4. 2009年版CDの使用事業者への研修、実施済み。
5. 2009年版CDの会員への使用方法研修、実施済み。
希望あれば随時実施します。
6. 審査人研修会、実施済み。

事務局（企画） 総合研修会Ⅱ

高橋 信

11月26～27日に横浜自然観察の森で市民活動研究会の支援を戴き、18名の会員が研修しました。あと10人程参加が欲しいと思いました。

この森は瀬上市民の森、氷取沢市民の森、釜利谷市民の森、金沢自然園の5つの里山の一部です。

いきもののにぎわいのある森（生物多様性）として様々な環境が保全され、環境調査・環境



管理・環境教育が実施されています。

このフィールドで3つの研修をしました。初日午前はソロウォーク（一人ひとりが自分で観察する）、午後はガイドウォーク（専門レンジャーのレクチャーを受けて観察する）、翌日はワークショップを実施しました。テーマを決めて観察することは重要ですが、生物多様性の観点で他のテーマにも気配りが必要です。その神髄は諸感覚（目で見ると、耳で聞く、鼻で嗅ぐ、手で触ると、心で感じる）を使う事を学びました。ワークショップは子供達、企業事業者、市民の3グループに分かれ、前日に学んだ自然観察から生物多様性の環境教育について議論しました。

参加会員感想

◎自然観察は初めての経験でした。今迄何気なく見ていた森や林も説明や体験を通じて自然が少し見えて来ました。私達の生活や企業活動と生物多様性の関わりをEA21の審査・コンサルを通じて実践したいと思います。

◎頭で理解していることを実際に体験してみることがいかに大切かを分かってはいるが、なかなか実施できていない。今回の研修で久しぶりに、改めて体験教育の重要性を認識することができた。

◎テーマを決めての観察が大事 諸感覚を重視する観察

◎形容詞で表現してみることが案外面白い、諸感覚を生かす

◎自然観察の森としては人の手を入れすぎる。

◎知ると面白くなる。視点が決まると見えるようになる。

◎ソロウォークでは何気なく歩いていたがガイドウォークでは森にとけこみ鳥の鳴き声が

良くわかった。



最後に一句

ふわふわの 落ち葉探して 森に入る

弘祐

エネルギー委員会

委員長 西村堅一郎

エネルギー委員会は12名で構成し、毎月第3金曜日に県民センターにおいて、地球温暖化防止のため温室効果ガス(二酸化炭素)を低減する「①省エネルギーの推進、②新エネルギーの導入」を図る会合を持っています。興味のある方は参加下さい。

2010年度の活動の「EA21取得事業者を対象にした省エネセミナーの実施」を、9月18日(土)に横浜市市民活動支援センターのセミナールームにおいて実施しました。

セミナーのプログラムは、KECAニュース42号に記載の通りです。その内容を簡単に説明します。

1. 省エネマネジメント

ISO50001を含めた、どのようにすると効果ある省エネが達成できるかについて述べた。

2. 電気の省エネ

電気使用契約、受電設備(変圧器は使わなくても電気を使うなど)、照明の省エネについて述べた。

3. 空気圧縮機の省エネ

空気漏れをなくす、供給圧を下げる、使わなくなったら空圧の供給を止めるなどについて述べた。

4. 空調の省エネ

冷却塔のスケール除去、駆動ベルトを消エネ型に変える、ヒートポンプ、BEMSまで幅広く述べた。

5. ボイラの省エネ

ボイラ保守(バーナー、配管、ブローなど)、運転制御(台数、時間管理)ボイラ効率の向上など。

6. 工業炉の省エネ

工業炉を省エネの観点から見直し、プロセスの最適化を提案、ロスが生じている所を指摘。

7. 省エネ・新エネの補助金等

地方自治体、財団法人、国等が補助金、融資、省エネ診断等の支援を行っているがその内容の説明。

お金のかからない運用改善がら、機材を購入して行う設備保全、さらに最小の投資でできる設備改善、その時の補助金についてまで、幅広く説明が行なわれました。参加者は少なかったが、参加者はためになったとの意見がほとんどでした。

写真 セミナーの風景



無料で出前省エネ説明会 相談会を行ないます。

今回のセミナーの講師が事業者の所へ出張して、省エネの説明、講演、相談まで無料で行ないます。これは次のような事業所に有効です。

1. ISO14001、EA21などの活動に取り組んでいるが、二酸化炭素削減（省エネルギー）に行き詰まっている。
2. ISO50001認証取得を目指す。
3. 省エネ法などの規制について知りたい。

3RLCA委員会 委員長 齋藤雅彦

3RLCA委員会として「ガラスびんのリユース」の調査事業の内容については、前号にてもご報告致しましたが、可なり以前よりこの件の調査依頼の話はありましたが、具体的な調査内容やLCA計算ソフトの費用等の関係で契約が遅れておりましたが、ようやく調査事業の計画及び契約内容なども略出来て参りましたので、近日中にも依頼者との話し合いに入る予定となっております。

3RLCA委員会としては今春開催しました

4. 将来に向けて省エネを考えたい。
工場だけでなく、オフィスビル、商業施設なども訪問致します。

ご希望の事業者様はKECAホームページ
<http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

をご覧頂くか、担当者メール

kenisimura@jcom.home.ne.jp まで御連絡下さい。

「カーボンフットプリント講座」等で教わったLCA解析手法等を用いてガラスびんのリユースによってCO₂削減がどの様に推進できるのかが、非常に興味があります。又現実的な地球温暖化防止対策となりえますので、この調査事業は大変有意義な事業となると思われま

す。今後はKECA会員の皆様のご協力も得てこの新規事業を推進致したく紙面をお借りしてご協力の程宜しくお願い申し上げます。
以上

市民活動研究会

環境カウンセラーを目指す大学生

の皆さんとの環境考察会

市民活動研究会 河野健三
西湘支部 早野木の美

市民活動研究会は11月6日に東海大学の4名の一年生と高麗山の環境考察会を行いました。西湘支部の早野さんは今秋から東海大学の講師として環境カウンセラー講座を担当しておりその授業の一環として行いました。当日は天候にも恵まれ、湘南平から高麗山の高来神社、番外の花水川散策にも参加してくれて楽しい環境考察会になりました。

KECAにとって学生さんとの交流は今後大きな財産になっていくものと期待しています。

早野さんから寄稿を記載します。

広報委員会 委員長 玉川達久

1. 活動状況（上期）報告

1) 広報委員会（第1回）の開催

日時：2010年7月12日13時
場所：KECA事務所（会議コーナー）
出席者：4名

2) 広報委員会（臨時）の開催

日時：2010年8月4日18時
場所：横浜市民活動支援センター
出席者：5名

3) 広報委員会（第2回）の開催

日時：2010年8月28日14時
場所：KECA事務所（会議コーナー）
出席者：6名

大学における環境カウンセラー講義の6回目は大中様、河野様、木村隆男様の3人の方々を講師に高麗山散策を実施しました。学生達にとっては初めての高麗山で、最初に展望台に上り、双眼鏡で大学の校舎を見て喜んでいました。

高麗山の植物や鳥類の説明。人類が登場する以前の土地の隆起に関するお話から、近世、江戸時代、明治時代から現代にいたるまでの奥深い歴史の話も散策をしながら随所々で語っていただきました。学生達がこの日が来るのを楽しみにしていたと語っていましたが、期待以上の素晴らしい日となりました。どうもありがとうございました。

市民活動研究会では9月30日の弘法山コース、10月9日の新治市民の森コースを行う予定でしたが、あいにく雨天のため中止しました。再度、来年1月8日の新治市民の森コース、2月22日の弘法山コースを予定していますので奮ってご参加下さい。

2. KECA ニュースの発行及び配信・配送

1) 41号 発行日：2010年4月24日

2) 42号 発行日：2010年8月28日

配信：KECA 会員へメール送信（136人）

配送：関係諸団体へ送付（54部）

3. 実施体制

今年度は下記の体制（7名）で進めます。

- ・広報委員長＝玉川達久。
- ・副委員長＝今泉 奉。
- ・KECA ニュース担当＝正）嶋田和夫、副）岩村順雄様。5月からは秋元文雄様が加わりました。
- ・ホームページ担当＝正）西村堅一郎、副）上野秀一。
- ・環境らしんばん担当＝岸川浩一郎の退会により当面休止しました。

・その他、催し物は各支部・委員会等で従来通り担当して戴きます。

4. KECA ニュースについて

1) 発送数は発送依頼者の明確化と効率化を図り、行政商工等=14件、カウンセラー等の全国組織=40件、企業等=0件、その他=2件の計56件です。

2) KECA ニュース発行マニュアルの整備

発行業務のリスク対応力強化の為に「KECA ニュース発行マニュアル」を随時整備してまいります。

3) 43号の発行について

印刷・発行予定日:2010年12月25日

43号以降も印刷・発送予定日は各支部長より会員へは日程の紹介を願い、都度実施しております。場所は横浜市民活動支援センターにて印刷・発送等の作業を予定しております。手伝

いの方を募っております、会員の皆様にご協力をお願いします。

5. ホームページについて

1) ホームページのリニューアル

KECA ホームページの現状改善を図るために、契約、仕組、管理、体制の再構築を進めています。

2) HP 活用の促進と体制

広報委員会のHP担当は西村様と上野様が中心に進めて戴いております。今後も協力者の増員を図っております、会員の皆様にご協力をお願いします。今後は担当者の負担軽減が課題となります。

会員の投稿

エコ生活の実践報告と東海大学生

との交流

～バリアフリーフェア 2010 参加報告～

事務局 河野健三 西湘支部 早野木の美

恒例のバリアフリーフェアは10月2日～3日にKECAの事務所がある横浜ワールドポーターズ(YWP)で開催されました。NPOスクエアの一員であるKECAとしては、昨年からの講演会への参加と展示ブースを活用したKECAのPRと共に会員同志の交流会を行ってきました。

今年は身近な問題として「わたしもできる！

エコ生活」をテーマとして参加し、会員同志の交流と共に東海大学の学生さんの参加もあり実り多いイベントとなりました。

1. ステージでの講演とブース展示の概要
相模原支部の増田和美さんに「ごみを減らす暮らしかた」で講演をお願いしました。自宅に出されるごみの重量計測、ごみの値段を含めた「ごみを出さないライフスタイルの実践」についてご自分の経験を踏まえた説得力のある説明でした。

展示ブースでは生物多様性に関するパネルを含め、エコ生活の実践例を展示し、体験コーナーとしては消費電力の違いを手動の発電機で感ずる省エネ体験装置、風呂敷包み、サンゴ、野鳥の鳴き声を体験してもらいました。

2. 東海大学生との交流

西湘支部の早野さんは東海大学の講師として2010年度秋学期「環境カウンセラー講座」を担当されている。講義の2回目としてバリアフリーフェアの見学と当協議会 会員との交流会を行い、4名の学生さんが参加したので以下、早野さんから寄稿を記載します。

私は2010年9月から野間紀之様の後任として、大学の環境カウンセラー講座を担当することになりました。受講対象者は1年生なので、試験を受ける要件は満たしていませんが、学生達が学業外に環境活動ができる環境を整えることにしました。

講義2回目のバリアフリーフェアに学生達を引率しました。講演を拝聴後、環境カウンセラーの方々と車座になって意見交換をしました。学生からはこの講義を履修した目的や感想。カウンセラーの方々からは仕事内容や体験談、資格取得のきっかけなどを話していただきました。昼食後も会場に残り、閉店までカウンセラーの方々と過ごすなど、大変実りの多い時間を過ごさせていただきました。

3. KECA 会員との交流についての学生さんの感想

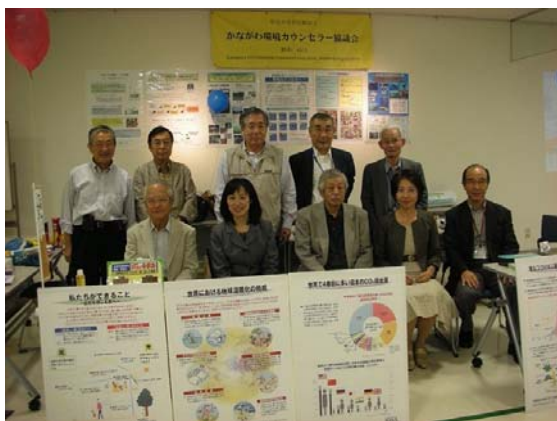
女子：環境カウンセラーの先生から、沖縄のサンゴやマングローブ、ウミガメの写真をを見せていただき、環境の変化を分かりやすく学

ぶことができました。私たちは生物について殆ど知らないということ、危機感をそれほど感じていないことを知りました。COP10が始まるこの機会を利用して、多くの情報を得て学習したいと思います。

女子：私の生まれた後に環境カウンセラーが生まれたと知り驚きました。また、環境問題が取り上げられたのも平成以降というのも意外でした。環境カウンセラーが行った活動のなかで、ESDの実施計画があったことはすごいと思いました。小泉首相が国連で決定したと聞いて驚きました。

女子：環境カウンセラーの講習会に出たり、インストラクターのディスカッションに出てみることもやってみようと思います。沢山のボランティアに参加したいです。

男子：環境カウンセラーの資格は昨今のエコブームの中で生まれた資格と思っていたので国が設けた歴史ある制度と知り意外でした。環境カウンセラーの先生がCOP10に行くように勧めてくださったので、夜行バスで友人と行ってきました。様々な団体のブースを訪れ、色々な話を伺いました。皆さん少しずつ考え方が異なっていました。想像していたよりも来場者数が少ないことに驚きました。恐らく、生物多様性の考え方は、日本ではまだ深く浸透していないのではないかと思います。もっと多くの人々に関心を持ってもらいたいと思いました。



会員の動向

新入会員の自己紹介

室中善博さん

1996年事業者部門で登録した室中善博です。大宮から川崎(麻生区)に引っ越した事もあり、KECAに入会させて戴くことになりました。千葉県協議会立ち上げ時、運営委員(広報)として活動しました。当時、米系半導体製造装置メーカーで勤務しており、化学物質管理、省エネ、

フロン対策、土壌・地下水浄化、EMS、環境法と環境に係わるテーマを幅広く担当しました。その後、複数企業でCSR、リスクマネジメント、EHS(環境、健康、安全)を経験、プラントメーカーに復帰し、現在、エネルギー関連業務(石炭(褐炭)ガス化など)に従事しています。KECAでは、LCA、CFPなどのテーマに興味があります。宜しくお願いします。

事務局便り

○2010年度も暦の上では最後の四半期を残すのみとなりましたが、事業計画の上では漸く半ばを経過した辺りでしょうか。予算の執行も然りです。厳しい経営状況の中、折角組んだ予算でもあり計画に沿った事業を着実に熟して成果を挙げたいところです。

○支部活動や委員会活動に限らず、従来にない新しい取組を始める動きもあり、前向きな姿勢はそれなりに評価できますが、予算の裏付けのないそう言った活動は、単なる思い付きと一笑に付され兼ねません。そうならないためにも十分な調査としっかりとした計画が必要であり、事業の継続も大事な要素になるはずです。

○年度の途中で湧き上がる捨て難いテーマ、将来につながる素晴らしいテーマは、是非理事会で十分に検討したいですね。理事会の同意が得られれば、総会議決の範囲内で何等かの道は開けるはずです。つまらないと言っては語弊がありますが、後ろ向きの議論が多い(というよりもせざるを得ない)理事会等の会議から一刻も早く卒業して、KECA本来の“環境カウンセラーとしてなすべきこと”を議論する場にしたいものです。

○夢や目標は年齢に関わらず持ちたいもの。しかしながら、ノーベル物理学賞を受賞したリチャード・ファイマン博士の著書で大変高度かつ

難解な物理学の解説書と言われる「ファイマン物理学」全5巻を読破することが目標という74歳の元企業経営者(現相談役)には敵わない。この方は又、「人間の脳は目標までしか努力しない。従って、目標はできるだけ高くすべし」という脳科学専門家の言葉も新聞の連載で紹介していました。筆者でもなるほどと頷くことはできます。

○生物多様性に関わるCOP10が終わり、気候変動に関わるCOP16が開催されました。中米両国と発展途上国の態度が今後の方向性の鍵を握っていますが、我々は自分たちのできることをせざるを得ない後ろ向きの仕事も含めて地道に進めていくこと、但し、できるだけ高い目標を掲げることが必要ではないでしょうか。eco検定のテキストにも出てくる“Think Globally, Act Locally.”は今では言い古されたフレーズかもしれませんが、そのままKECAの活動に当てはめて考えても違和感はありません。

○今年度の活動もさることながら、そろそろ来年度の活動にも思いを馳せる必要があります。いささか早いようですが、何か閃くものが初夢に出て来ることを期待しつつ新しい年を迎えたいと思います。どうぞ良いお年を。

木村信幸

編集後記

2010年、今年の漢字の第1位は「暑」に決まったそうです。そう言えば、「猛暑日」という言葉がニュースを賑わしたのも今年の夏でした。これにより直面する環境問題を認識した人々も多かったのではないかと思います。

その人々の意識や行動を環境に配慮したものに変わって主体的に環境保全活動に参画するよう促すことが、私たち環境カウンセラーに求められている役割であることを今年の漢字を見ながらあらためて認識しました。

発行 特定非営利活動法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1

横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア内

理事長 杉浦 弘祐

事務局長 木村 信幸

TEL : 045-226-5822 FAX : 045-226-5825

E-Mail : 37keca@kke.biglobe.ne.jp

URL : <http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

*メールアドレスとURLが変更になりました。

当協議会は環境省に登録された環境カウンセラーが市民、事業者、行政その他の関係機関に対してさまざまな支援活動を行っています。